

今年刊行七十年を迎えるケインズの「一般理論」の中核とされる財政支出の「乗数効果」には、論理矛盾がある。とはいえ、現行の国民所得会計で測っていない「価値」を生み出すなら、公共事業は正当化される。不況期の財政支出には意味があることを正しく理解するべきである。

無駄な公共事業 失業手当と同じ

バブル崩壊以降、いろいろな政策提言がなされた。しかしその内容は、構造改革が最重視かというように、ときに激しく対立し、経済学への不信すら招いている。

実はケインズも、『雇用・利子および貨幣の一般理論』の序文でこれと同じ懸念を示している。



経済教室

彼の懸念は『一般理論』刊行後七十年、没後六十年を迎えた今日でも当たっているのである。

しかし、混乱の責任はケインズ自身にもある。ケインズ理論という乗数効果が浮かぶが、よく考えると、それ自体が有り得ないのである。

乗数効果とは、財政支出でカネを使えば国民所得が増えるというものである。一億円の公共事業なら、まず一億円の需要が生まれ、そのまま所得増加として国民の懐に入る。人々がそのうち六割を消費に回して物を買うなら、それが六千万円の新たな所得となって再び

ケインズ「一般理論」刊行70年 論理矛盾ある「乗数効果」

事業評価を変えよ 不況期の財政拡大は正当

小野 善康

一九九八年の地域振興券が問題となっていて、現在在の日本を見れば、国民はそれほど愚かではないことがわかる。教科書には「均衡財政で経済への拡大効果は何で、当初もその後も含めて、当初もその後も含めて、均衡財政では消費への波及効果はない、という所得拡大は実質的に意味のない、見せかけに過ぎないことがわかる。国民所得が五百兆円のとき、政府が五十兆円の

このように、駐車監視員でも物でも失業手当でも、違反減少、物、何もしない、というそれだけでできた物自体の価値を除けば、その他の効果は同じである。そのため、できた物が価値のない無駄な公共事業なら、あらゆる面で失業手当と同じである。

このように、駐車監視員でも物でも失業手当でも、違反減少、物、何もしない、というそれだけでできた物自体の価値を除けば、その他の効果は同じである。そのため、できた物が価値のない無駄な公共事業なら、あらゆる面で失業手当と同じである。

このように、駐車監視員でも物でも失業手当でも、違反減少、物、何もしない、というそれだけでできた物自体の価値を除けば、その他の効果は同じである。そのため、できた物が価値のない無駄な公共事業なら、あらゆる面で失業手当と同じである。

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄



小野 善康
大阪大学教授

要はない。つまり、失業手当を払うのとまったく同じである。あとの状況も同じだから、波及効果にも差はない。違いがあるとすれば、当初何もなかったか、違反を取り締まるだけである。

それでは、人手もコンクリートも必要な箱物公共事業の場合がどうか。人手については駐車監視員と同じだから、物の購入効果に注目しよう。コンクリートは砂利と石灰石からできている。つまり、コンクリート代とは、砂利や石灰石を採取した人へのカネの支払いで、人件費と変わりない。したがって、失業者で

予算考えれば所得増えない
ここまでの議論では予算を考慮していない。もし予算を考慮するならば、失業手当でも公共事業でも、カネさえ使えば消費と所得の連鎖的拡大が起る、ということすらあり得ない。

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

均等計算を考えたとき、失業手当や公共事業費を払うには、国民から保険料や税金を集めなければならぬ。つまり、同額を集めて返すだけだから、消費は刺激されるわけがない。このことは、

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

このことを無視したケインズの議論には、現在から将来にわたる時点間予算の発想がない。つまり、国民はいま税金を取られなければ財政赤字が膨らんでも眼中にない、というに等しい(財政赤字は何か考慮していない。つまり、中身の無い無駄

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学

おの・よしやす 51年生まれ。東京大学経済学博士。専門はマクロ動学